

目 標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次の通り育成することを旨とする。 1 造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、造形的に表すことができるようにする。 2 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 3 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
学年の目標	1 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができるようにする。 2 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 3 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

月	時 数	単元名 題材名	単元目標 (観点別の目標)	学習内容	評価の観点 (生徒の達成度を A～D の 4 段階で総合評価)
4 5 6 ／ 10 11 12	14	絵画 「版画」	【知識及び技能】 ・版画の基本や版素材の使い方を理解し、制作することができる。 【思考力、判断力、表現力】 ・版素材の特性を生かしながら、創造的に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・版画と印刷のつながりを知り、生活の中の版画について関心をもつことができる。	【A 表現】 ○版画の基礎 ・版画の世界。(鑑賞) ・版の種類について。 ・版の素材の特性について。 ・用具の使い方について。 ○制作 ・描画～下絵を制作する。 ・製版～下絵を基に版をつくる。 ・印刷～絵の具やインクを使って用紙に刷る。 【B 鑑賞】 ・作品発表 ・講評～他者の作品について良さを 見つけ発表する。	【知識・技能】 1 段階：版画の基本や版素材の使い方が分かり、制作することができる。 2 段階：版画の基本や版素材の使い方を理解し、制作することができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：版素材の特性を生かしながら表現することができる。 2 段階：版素材の特性を生かしながら創造的に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：版画と印刷のつながりを知り、生活の版画について関心をもつことができる。 2 段階：版画と印刷のつながりを知り、生活の版画について関心を深めることができる。 評価方法：制作の取り組み、作品提出、レポート、出席
6 7 ／ 12 1	14	工芸 「木彫・グラス エングレービ ング・レザーク ラフトなど」	【知識及び技能】 ・材料や用具の特性を生かしながら制作することができる。 【思考、判断力、表現力】 ・使い手の目的、機能美、造形美を考えて作品制作することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常の生活で使われている工芸作品や工業製品について関心をもつことができる。	【A 表現】 1 工芸の基礎 (1) 工芸作品と工業製品について。 (2) 工芸の世界(鑑賞) (3) 素材の特性について。 (4) 用具の使い方について。 2 制作 (1) 作品制作 【B 鑑賞】 1 作品発表 2 講評～他者の作品について良さを 見つけ発表する。 【数学：図形】【家庭：生活用品】	【知識・技能】 1 段階：材料の特性や用具の使い方が分かり、主題に沿って制作することができる。 2 段階：材料の特性や用具の使い方を理解し、創意工夫を取り入れながら制作することができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：使い手の目的、機能美、造形美を考えて製品を製作することができる。 2 段階：使い手の目的、機能美、造形美を考え、創意工夫を取り入れながら製品を製作することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：日常の生活で使われている工芸作品や工業製品について関心をもつことができる。 2 段階：日常の生活で使われている工芸作品や工業製品について関心を深めることができる。 評価方法：制作の取り組み、作品提出、レポート、出席
9 ／ 2	6	鑑賞 「近現代の美術・文化遺産 など」	【知識及び技能】 ・近現代の美術や文化の特徴について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力】 ・美術作品や文化遺産について、思ったこと感じたことを意見交換することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近現代の美術や文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について関心をもつことができる。	【B 鑑賞】 ○近現代の美術 ・近現代の美術について。 ・近現代の文化遺産について。 【社会：世界・日本の文化】	【知識・技能】 (生徒の達成度を A～D の 4 段階で総合評価) 1 段階：近代の美術や文化の特徴について理解することができる。 2 段階：近代の美術や文化の特徴について理解をふかめることができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：美術作品や文化遺産について、思ったこと感じたことを意見交換することができる。 2 段階：美術作品や文化遺産について、思ったこと感じたことを深め、意見交換することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：近代の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について関心をもつことができる。 2 段階：近代の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について関心を深めることができる。 評価方法：学習の取り組み、レポート(鑑賞)、出席